

平成 27 年（1 月末）の労働災害発生状況について

1 労働災害発生状況

(1) 概況

ア 前年同期との比較

	平成 26 年 1 月末	平成 27 年 1 月末	増減（率）
死亡災害（人）	68	51	-17（-25.0%）
死傷災害（人）	3,730	3,715	-15（-0.4%）
重大災害（件）	3	10	7（233.3%）

イ 先月末との比較

	平成 26 年 12 月末	平成 27 年 1 月末	対前年増減率の推移
死亡災害（人）	-	51	-25.0%
死傷災害（人）	-	3,715	-0.4%
重大災害（件）	-	10	233.3%

ウ 近年の同月との比較（1 月（1 ヶ月間に登録されたもの）の労働災害件数の経年推移）

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
死亡災害（人）	58	68	51
死傷災害（人）	3,588	3,730	3,715
重大災害（件）	11	3	10

（注：平成 27 年 2 月 7 日までに入力した速報値である。）

（出典：死亡災害報告、労働者死傷病報告、重大災害報告）

(2) 死亡災害

ア 業種別発生状況

建設業（17 人）、製造業（11 人）、第三次産業（8 人）、陸上貨物運送事業（6 人）の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「墜落・転落」(12人)、「交通事故(道路)」(12人)、「はさまれ・巻き込まれ」(7人)の順で多く発生している。

(3) 死傷災害(休業4日以上)

ア 業種別発生状況

第三次産業(1,459人)、製造業(931人)、建設業(541人)、陸上貨物運送事業(479人)の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「転倒」(1,025人)、「墜落・転落」(681人)、「はさまれ・巻き込まれ」(549人)の順で多く発生している。

(4) 重大災害(一時に3人以上の死傷者を伴う災害)

ア 業種別発生状況

建設業(4件)、第三次産業を中心としたその他の事業(3件)、陸上貨物運送事業(2件)の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「交通事故」(7件)、「中毒・薬傷」(1件)、「墜落」(1件)、「その他」(1件)の順で多く発生している。